

報道関係者 各位

令和8年1月27日（火）

【取材対応窓口】

職業能力開発総合大学校

総務課長 中村 彰裕

総務課長補佐 堀田 大輔

（直通電話）042-341-3331

職業大の学生が技能五輪国際大会（2026年・上海）の日本代表に選出 「ソフトウェアテスト」職種で初の日本代表に

【日本代表選手の紹介】

- 氏 名：今村 遼（いまむら りょう）20歳
- 所 属：職業能力開発総合大学校
総合課程 電子情報工学専攻 3年
- 出身高校：鹿島学園高等学校（茨城県）



【今村さんのコメント】

大会では持てる力を出し切り、何より大会そのものを心から楽しめたいと思っています。職業大で培った「磨き上げた知と技」は、今の私の確かな自信です。

ソフトウェアテスト職種での挑戦を通して、将来は世界で活躍できるITエンジニアへと成長していきます。支えてくださる先生方や仲間への感謝を忘れず、メダル獲得を目指して精一杯頑張ります！

【新野校長のコメント】（別添1参照）

今村さんの選出は、本校の教育研究の成果が結実したものであり、大きな誇りであります。

職業能力開発総合大学校（PTU: The Polytechnic University of Japan）は、技能五輪国際大会において、教員の専門性を活かして、競技運営や日本代表選手の強化を担っています。

（別添3参照。一部の研修は取材可。）

参考1 第48回技能五輪国際大会について

開催地 中国・上海

開会式 2026年9月22日（火）

競技期間 2026年9月23日（水）～9月26日（土）

閉会式 2026年9月27日（日）

公式ホームページ（英語） <https://worldskills2026.com/>

技能五輪国際大会については、中央職業能力開発協会のホームページを参照 <https://www.javada.or.jp/jigyoin/gino/kokusai/about.html>

参考2 ソフトウェアテスト職種について

第48回大会から新設された競技職種です。

実務に即したソフトウェアテスト能力を競う競技で、実在の開発現場を想定したテストプロジェクトに基づいて、参加者がソフトウェアを分析し、テスト設計、実行、結果評価までを一貫して行います。競技課題は、インターフェーステスト、性能テスト、機能テスト及び秘密課題で構成され、手動および自動テスト技法、論理的思考力、分析力が総合的に評価されます。

第48回大会では、本競技職種に、中国、インドなど9か国が参加予定です（2026年1月現在）。

別添1 「第48回技能五輪国際大会日本代表への学生派遣を祝して」

職業能力開発総合大学校長 新野秀憲

別添2 職業能力開発総合大学の総合課程について

別添3 職業能力開発総合大学の技能五輪への協力について



〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

西武拝島線／西武国分寺線「小川」駅西口より徒歩5分

TEL:042-341-3331

<https://www.uitec.jeed.go.jp/>



ホームページ



公式 Instagram



公式 YouTube



第 48 回技能五輪国際大会日本代表への学生派遣を祝して

職業能力開発総合大学校 校長 新野秀憲

このたび、職業能力開発総合大学校(The Polytechnic University of Japan, 略称 PTU)・総合課程電子情報工学専攻 3 年生の今村遼さんが、2026 年 9 月に中国・上海にて開催予定の第 48 回技能五輪国際大会の「ソフトウェアテスト(Software Testing)職種」の日本代表に選出された旨、報告を受けました。誠に喜ばしく、校長として教職員一同を代表し、心より祝意を表します。本大学校では、科学・技術・技能を三位一体とした実験・実習・演習を重視し、他に例を見ない密度の高い実践的教育研究を推進しております。今村さんの選出は、こうした本大学校の教育研究の成果が結実したものであり、大きな誇りであります。大会開催まで、教職員が一丸となって今村さんを支援してまいります。

今村さんには、本大学校での三年間に培った科学的知識、技術、ならびに多様なスキルを存分に発揮し、国際舞台で力の限り活躍されることを心から期待しております。

本大学校は、我が国における人材開発の中核を担う唯一無二の高等教育機関として、「日本の製造産業の国際競争力の強化」と「政府の責任で進める雇用のセーフティネットの確立」を使命に掲げ、教育研究活動を展開してまいりました。前者の実現には高度産業人材の育成が、後者の実現には職業訓練指導員の養成が不可欠であります。本大学校では、機械工学、電気工学、電子情報工学、建築工学の全四専攻において、デジタル技術とハードウェア技術の双方に精通するのみならず、社会課題に対してそれらを自在に活用できる高度実践人材の育成を新たな使命として位置付けております。そのため、産業ニーズの変化を的確に捉え、最新のデジタル技術とハードウェア技術を積極的に取り入れた教育研究を推進してまいりました。その結果、本大学校が養成する科学的知識に裏付けられた技術・技能を備えた高度実践人材は、産業界から高い評価をいただいております。

このたびの今村さんの日本代表選出を契機として、本大学校の特色ある教育研究に対する関心と理解が一層深まることを切に願っております。

以上

職業能力開発総合大学校の総合課程について

職業能力開発総合大学校は、厚生労働省が所管する国立の省庁大学校です。

総合課程（4年間）には、機械工学・電気工学・電子情報工学・建築工学の4つの専攻があり、卒業生には学士（生産技術）が授与されます。3年時に必要な科目を履修することで、国家資格である職業訓練指導員の免許を取得できます。

【在籍している学生】 376人 （令和7年12月時点）

【教育の特徴】

- 一専攻一学年約20人の少人数教育
- 実験、実習を重視したカリキュラム
- 実験、実習、研究を支える充実した設備

機械工学専攻	機械工学を広く、深く学び、ものづくりをとおして、応用力と問題解決能力を養う。
電気工学専攻	電気技術をとおして、環境に配慮した豊かな社会を実現する。
電子情報工学専攻	あらゆる仕事で活躍できる電子回路、センシング、プログラミング、AI、IoT、クラウド技術を学ぶ。
建築工学専攻	空間を創造する楽しさと建物を造り上げる達成感を得て、イメージを形にできる建築技術者になる。

【卒業生の主な進路】

- 4割が公的機関の職業訓練指導員に就職。
- 5割が民間企業に就職。
- 1割が公務員や公益法人に就職。
- その他、大学院への進学もある。

職業能力開発総合大学校の技能五輪への協力について

職業能力開発総合大学校（PTU: The Polytechnic University of Japan）は、技能五輪全国大会および国際大会に教員を継続的に派遣しています。派遣された教員は、競技ルールの策定、課題設計、採点基準の検討、国際調整などに参画しています。

また、日本代表選手強化および指導者育成を目的とした研修を主体的に企画・実施しており、競技力の向上と指導体制の高度化に寄与しています。

これらの活動で得られた知見は、本学の教育・訓練にも還元され、教育と競技運営を循環させる基盤を形成しています。

1 第 48 回技能五輪国際大会（2026 年・上海）に派遣される教員（予定）

- 職種管理マネージャー（Skill Competition Manager）

電子情報工学専攻 教授 菊池 拓男

- 技術代表（Technical Delegate）

機械工学専攻 教授 市川 修

- エキスパート（Expert）

電気工学専攻 教授 清水 洋隆

電子情報工学専攻 准教授 大村 光徳

電子情報工学専攻 准教授 貴志 浩久

電子情報工学専攻 准教授 遠藤 雅樹

2 技能五輪関係の研修

日程等は、当校 HP で随時公表。

https://www.uitec.jeed.go.jp/training/skill_kokusai_compe.html

以下の日本代表選手強化研修は、報道機関による取材を可能として実施予定です。研修内容および取材要領の詳細は、別途案内いたします。

1 月 29 日

研修名：技能五輪における適切な選手指導とハラスメント防止研修

会場：アキバプラザ

1 月 29 日～1 月 30 日

研修名：国際大会で勝つための「実力発揮メソッド」基礎

会場：AP 東京八重洲

2 月中（調整中）

研修名：技能分析スタジオ（SAS）を活用した技能分析と指導法の実践

会場：職業能力開発総合大学校

※研修内容および取材要領の詳細は、別途案内いたします。